



北雪  
時代鏡  
為永  
國  
真畫  
水化  
十編  
美談

芝若林  
堂發行

~ 13  
3756  
4

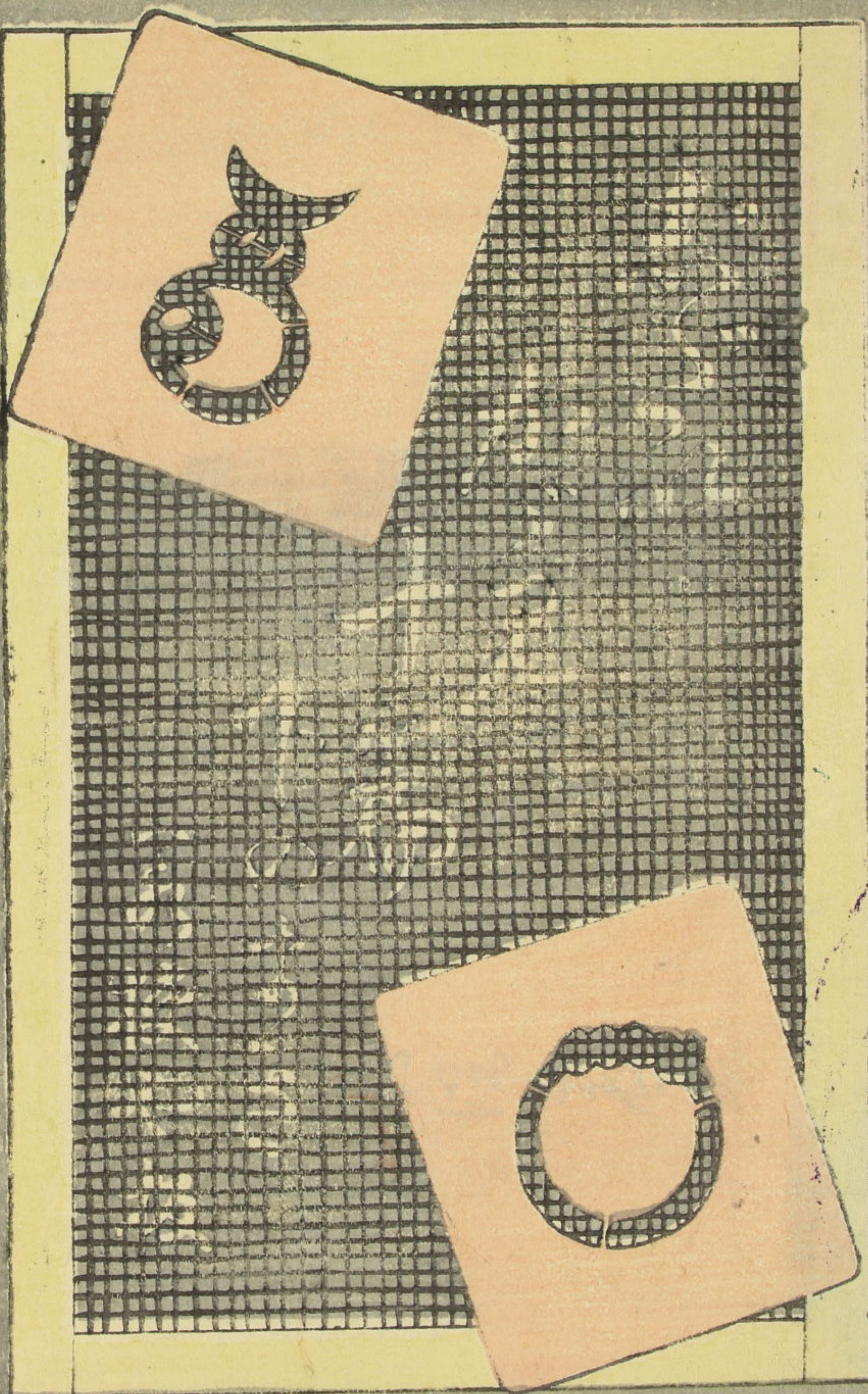


時代  
十編  
上



若林堂藏本

春水作  
国貞画





此雪  
美談  
時代加々見

介題曲五回忠

新の  
衣被屋板

十編下

春  
玉  
衣  
被  
屋  
板

十編上

新  
衣  
被  
屋  
板



外題曲名  
二國色

新  
年  
亥

十一編下



北  
美  
談  
時  
代  
鏡

十一編上

亥  
子  
丑  
寅



北雪美談時代加見

外題五国画

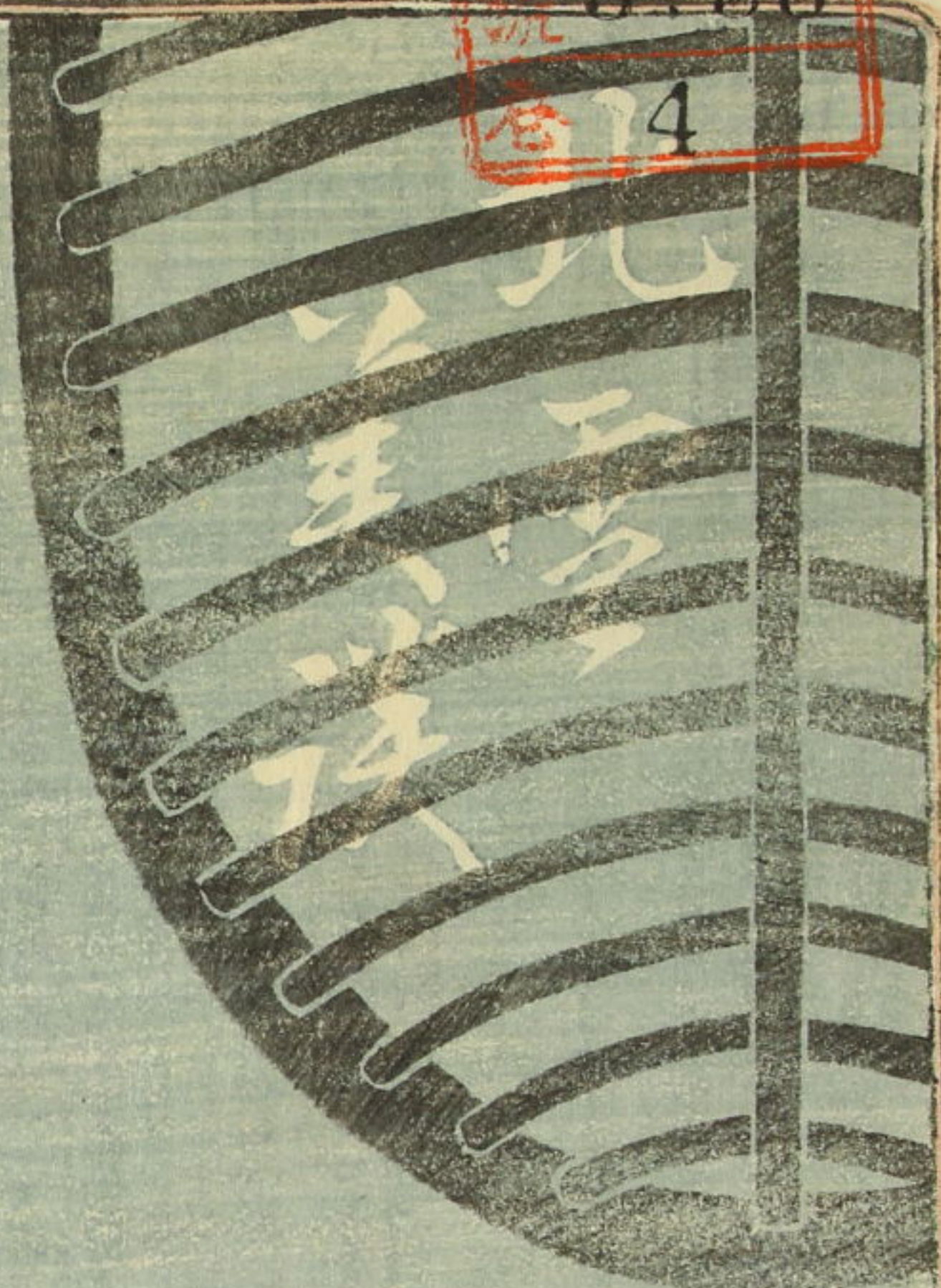
子の手

壺  
さ  
孫

春水  
さ

十二編上

門 13  
號 3756  
各 74



時代初見  
拾二編下冊

為永矣水作  
一壽齋國真画  
其非明也  
其殊也  
与市  
とん

越後國七不思議



佐渡の僞の夫を、加賀の話の  
越後、要之助、新潟、  
美女好屋、その混乱、小萩、毒十  
小止ら、那如法寺の段、七不思議  
議、方言、村の陰火を、

七不思議之内  
逆竹

焼耐火を、假用  
の鳴

物入を、舞臺の  
左右の窓蓋と

七不思議之内  
臭水油の掘井



時代上

場の趣向と、



寺

上  
流  
無  
軒  
魔  
風

七  
思  
議  
之  
内  
三  
度  
栗



七  
思  
議  
之  
内  
八  
房  
の  
梅

場  
葉  
露

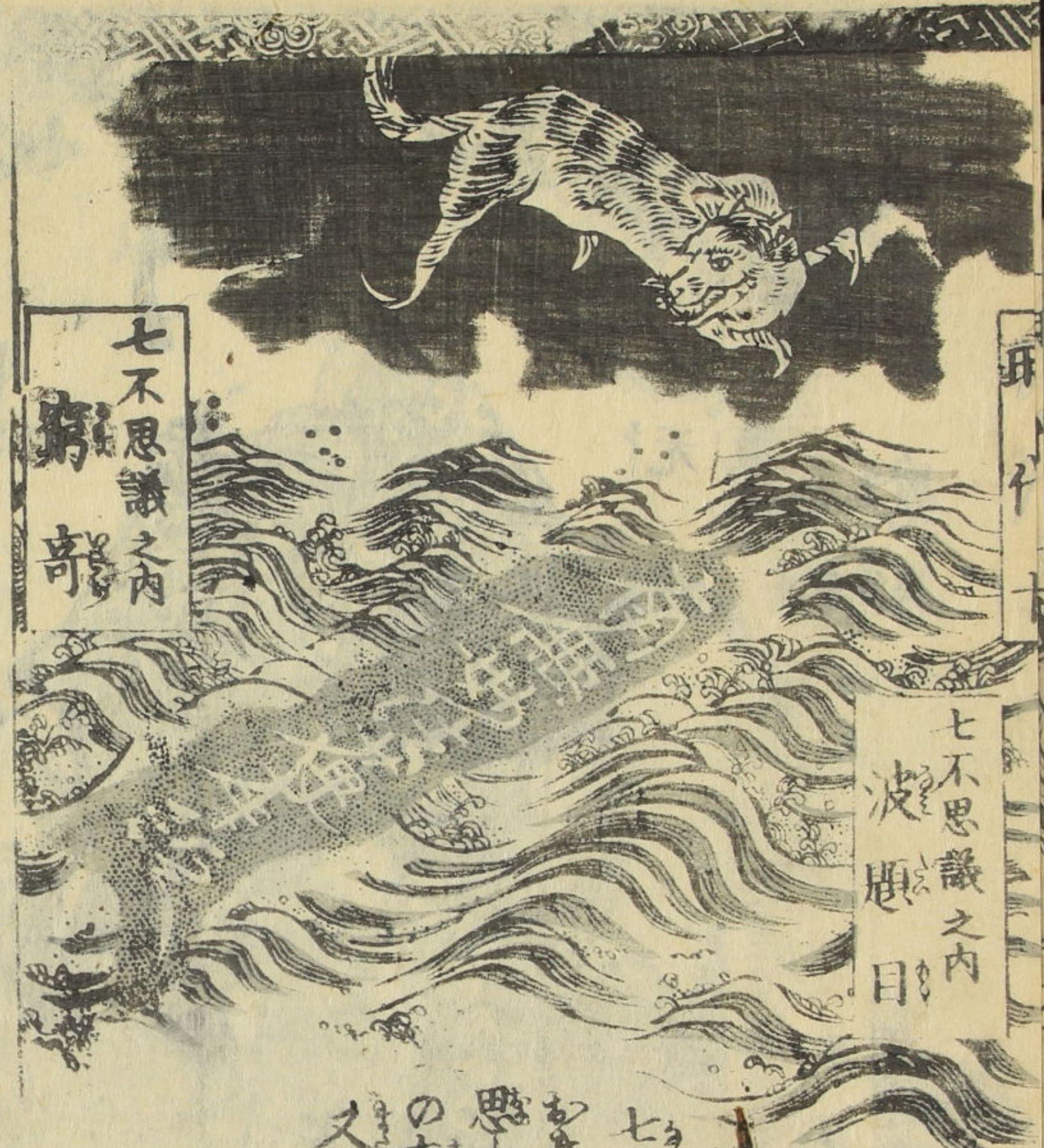
七  
思  
議  
之  
内  
八  
方  
村  
の  
陰  
火

七不思議の内  
 一、海に舟を沈めしむる事  
 二、舟に火を焚きしむる事  
 三、舟に火を焚きしむる事  
 四、舟に火を焚きしむる事  
 五、舟に火を焚きしむる事  
 六、舟に火を焚きしむる事  
 七、舟に火を焚きしむる事

時  
ヤ  
十



七不思議の内  
 一、海に舟を沈めしむる事  
 二、舟に火を焚きしむる事  
 三、舟に火を焚きしむる事  
 四、舟に火を焚きしむる事  
 五、舟に火を焚きしむる事  
 六、舟に火を焚きしむる事  
 七、舟に火を焚きしむる事



七不思議之内  
奇

七不思議之内  
波  
題  
目

編中に見せしむる事  
 豫ハ懐响置リ余念い余  
 紙員足し  
 老首小譲と  
 七不思議と信頭  
 思小をうの拙作  
 又不思議の内  
 安政四年  
 文久三夾春  
 烏永春水記  
 新刺  
 再板  
 春官  
 安小



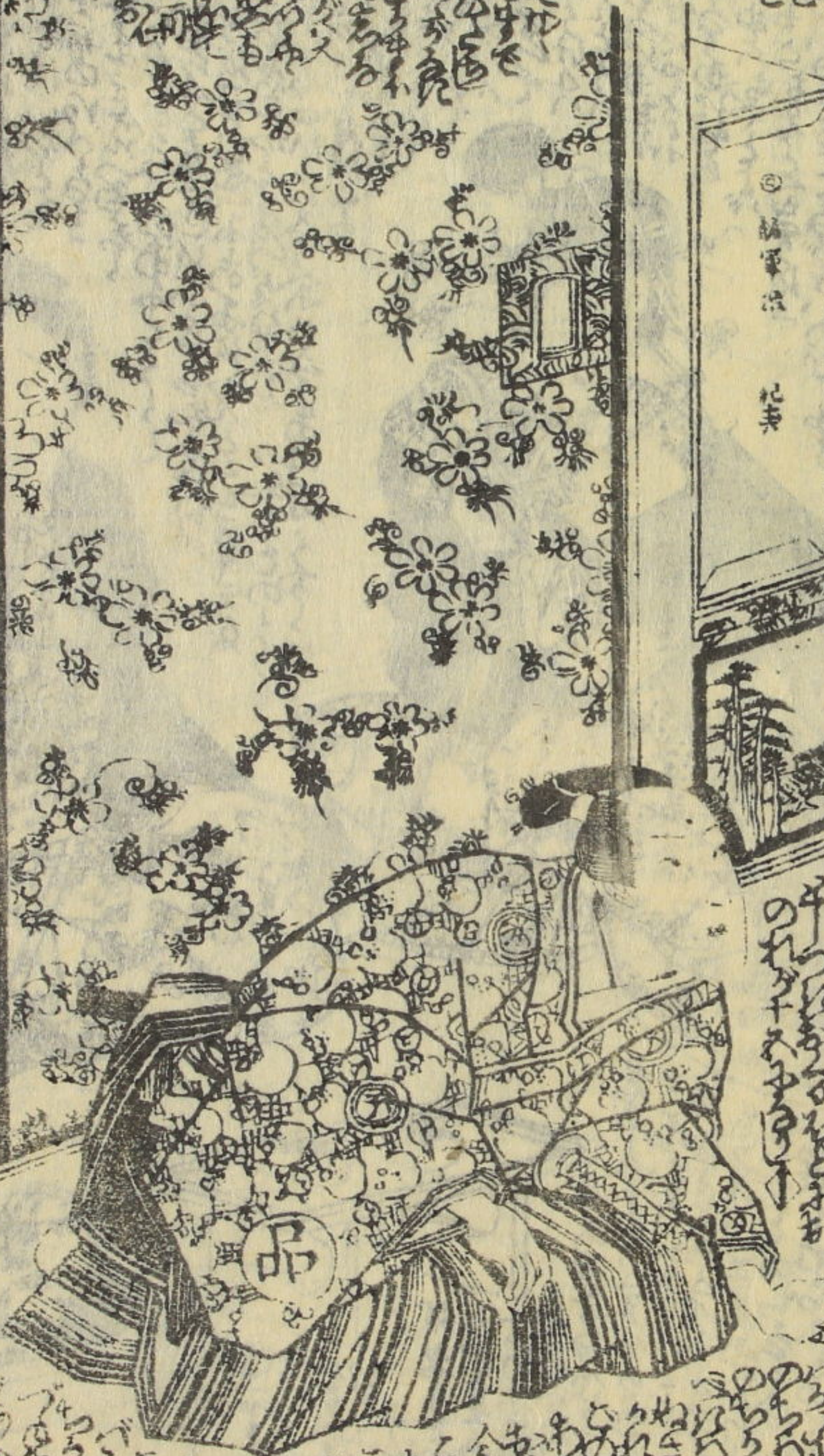








Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a play script or commentary, surrounding the illustrations. The text is written in a cursive style (sōsho) and is interspersed with the scenes.



Handwritten text on the left margin of the page.

Handwritten text on the right margin of the page.

品 (Shin) - A small label or character at the bottom left of the page.

Handwritten text on the right margin of the page.

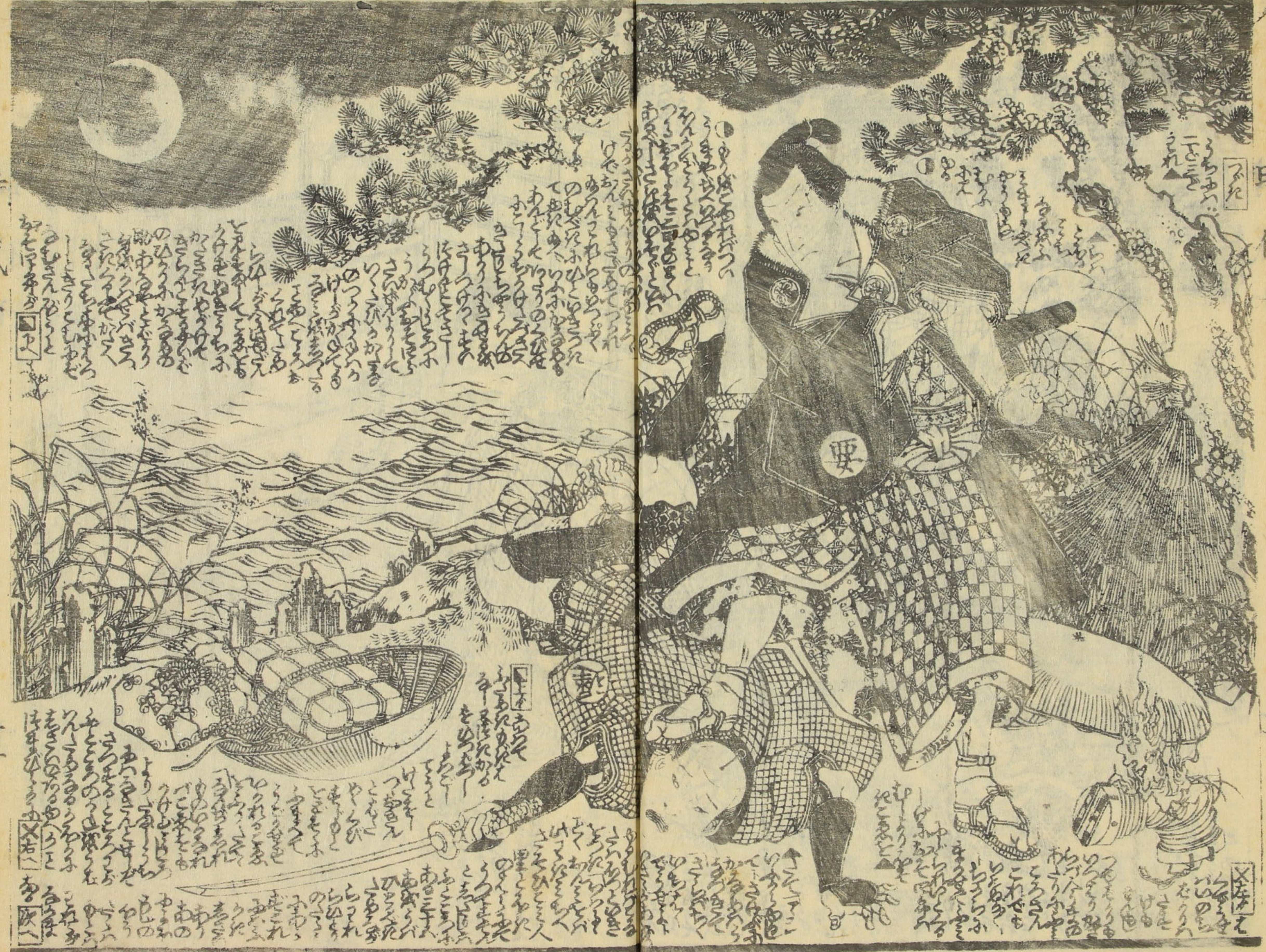




Vertical columns of Japanese text in kuzushiji script, interspersed with the illustration. The text is arranged in columns on both the left and right sides of the image, providing a narrative context for the scene.





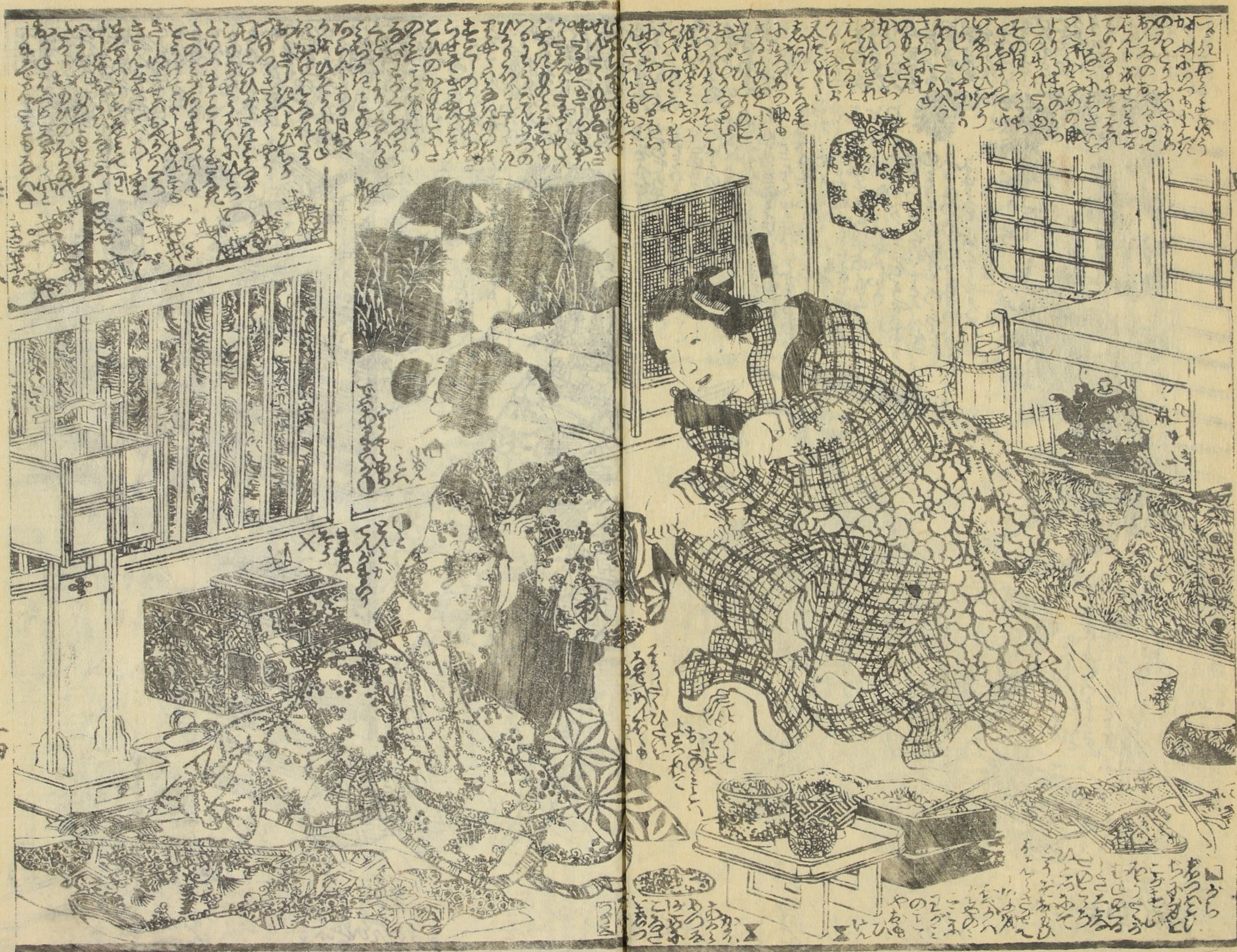


おのれをいふは  
うらやまの心  
おもひのこころ  
おのれをいふは  
うらやまの心  
おもひのこころ  
おのれをいふは  
うらやまの心  
おもひのこころ

おのれをいふは  
うらやまの心  
おもひのこころ  
おのれをいふは  
うらやまの心  
おもひのこころ  
おのれをいふは  
うらやまの心  
おもひのこころ

おのれをいふは  
うらやまの心  
おもひのこころ  
おのれをいふは  
うらやまの心  
おもひのこころ  
おのれをいふは  
うらやまの心  
おもひのこころ





源氏物語 卷第十四 桐壶院 桐壶院の御時

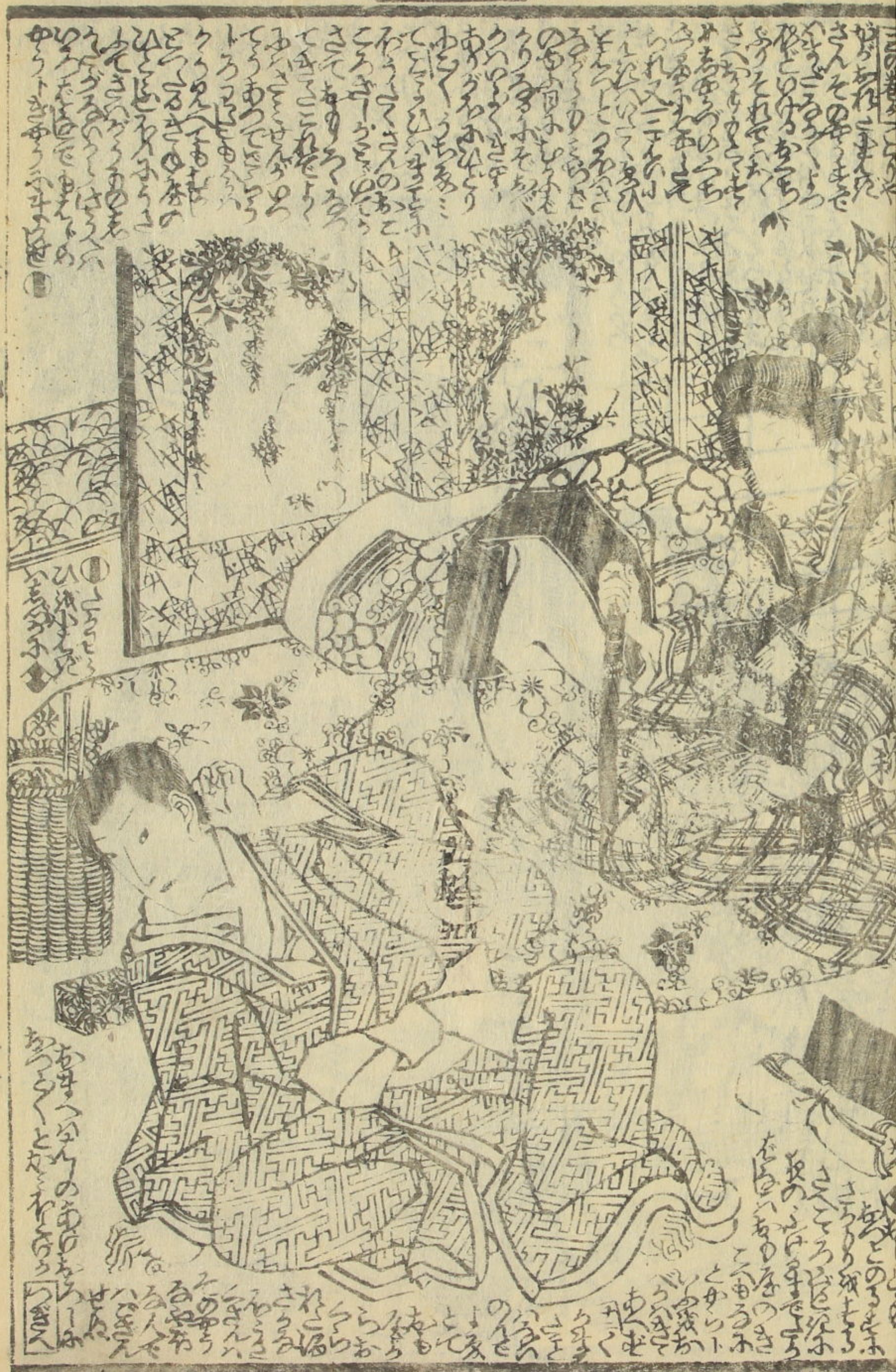
あつては... 御時... 桐壺院の御時... 桐壺院の御時...



ついでに... 桐壺院の御時... 桐壺院の御時... 桐壺院の御時...

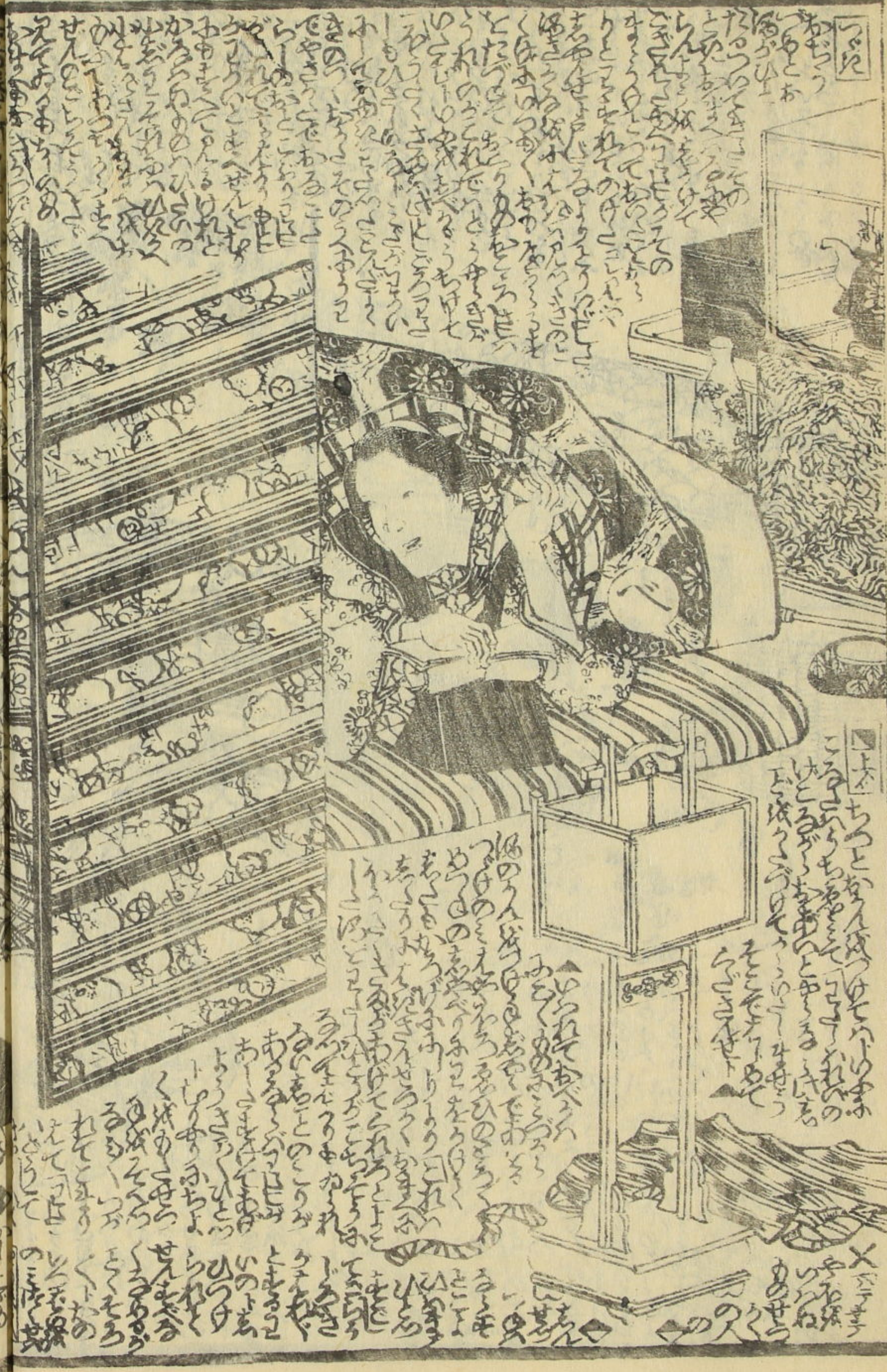
桐壺院の御時

四



さそひはしるまゝに  
あつたうらまゝに  
ささひはしるまゝに  
あつたうらまゝに  
ささひはしるまゝに  
あつたうらまゝに  
ささひはしるまゝに  
あつたうらまゝに

あつたうらまゝに  
ささひはしるまゝに  
あつたうらまゝに  
ささひはしるまゝに  
あつたうらまゝに  
ささひはしるまゝに  
あつたうらまゝに  
ささひはしるまゝに



あつたうらまゝに  
ささひはしるまゝに  
あつたうらまゝに  
ささひはしるまゝに  
あつたうらまゝに  
ささひはしるまゝに  
あつたうらまゝに  
ささひはしるまゝに

あつたうらまゝに  
ささひはしるまゝに  
あつたうらまゝに  
ささひはしるまゝに  
あつたうらまゝに  
ささひはしるまゝに  
あつたうらまゝに  
ささひはしるまゝに





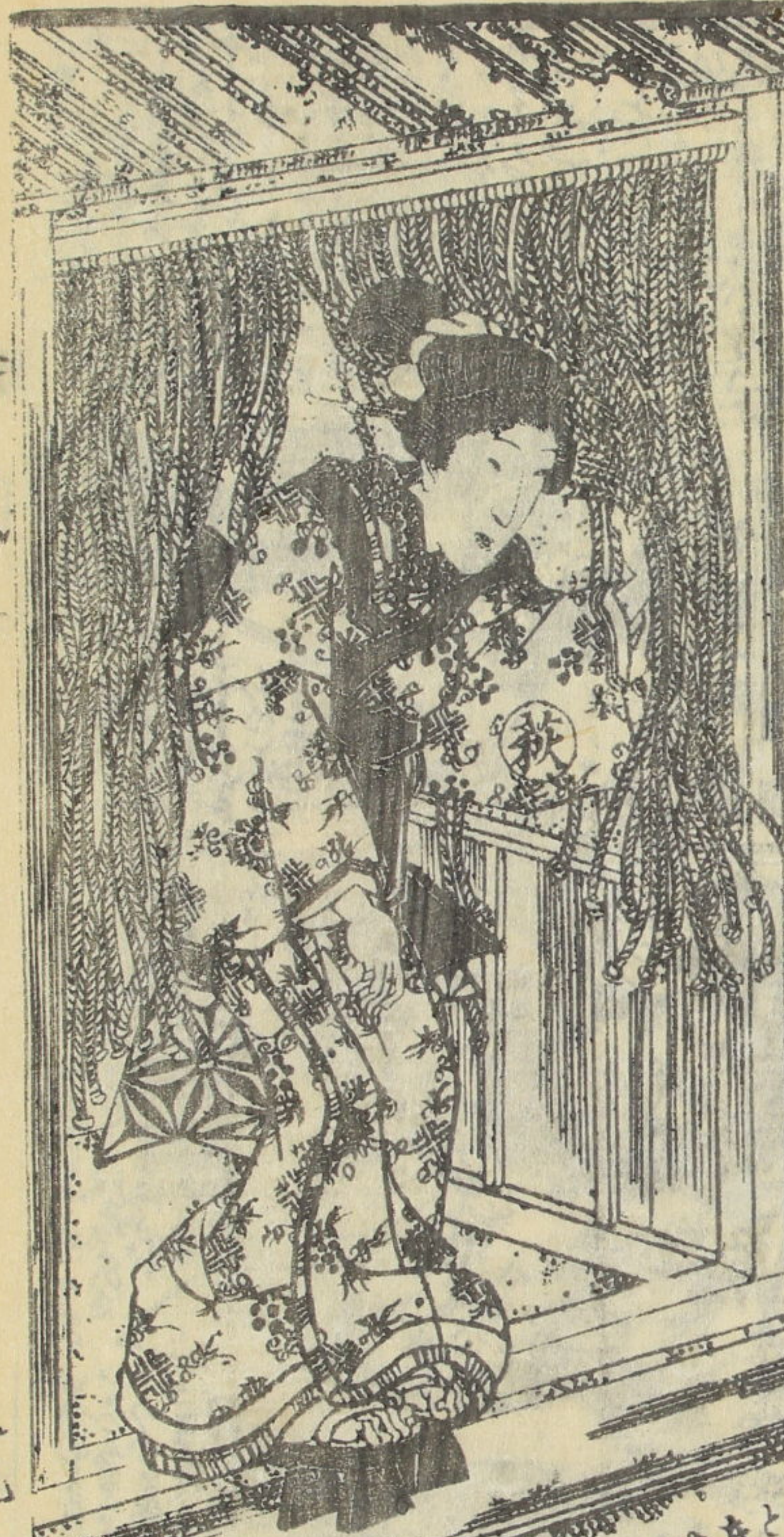
寺  
A  
T

Vertical columns of handwritten Japanese text in kuzushiji style, located at the top of the left page.

Vertical columns of handwritten Japanese text in kuzushiji style, located at the bottom of the left page.

Vertical columns of handwritten Japanese text in kuzushiji style, located at the top of the right page.

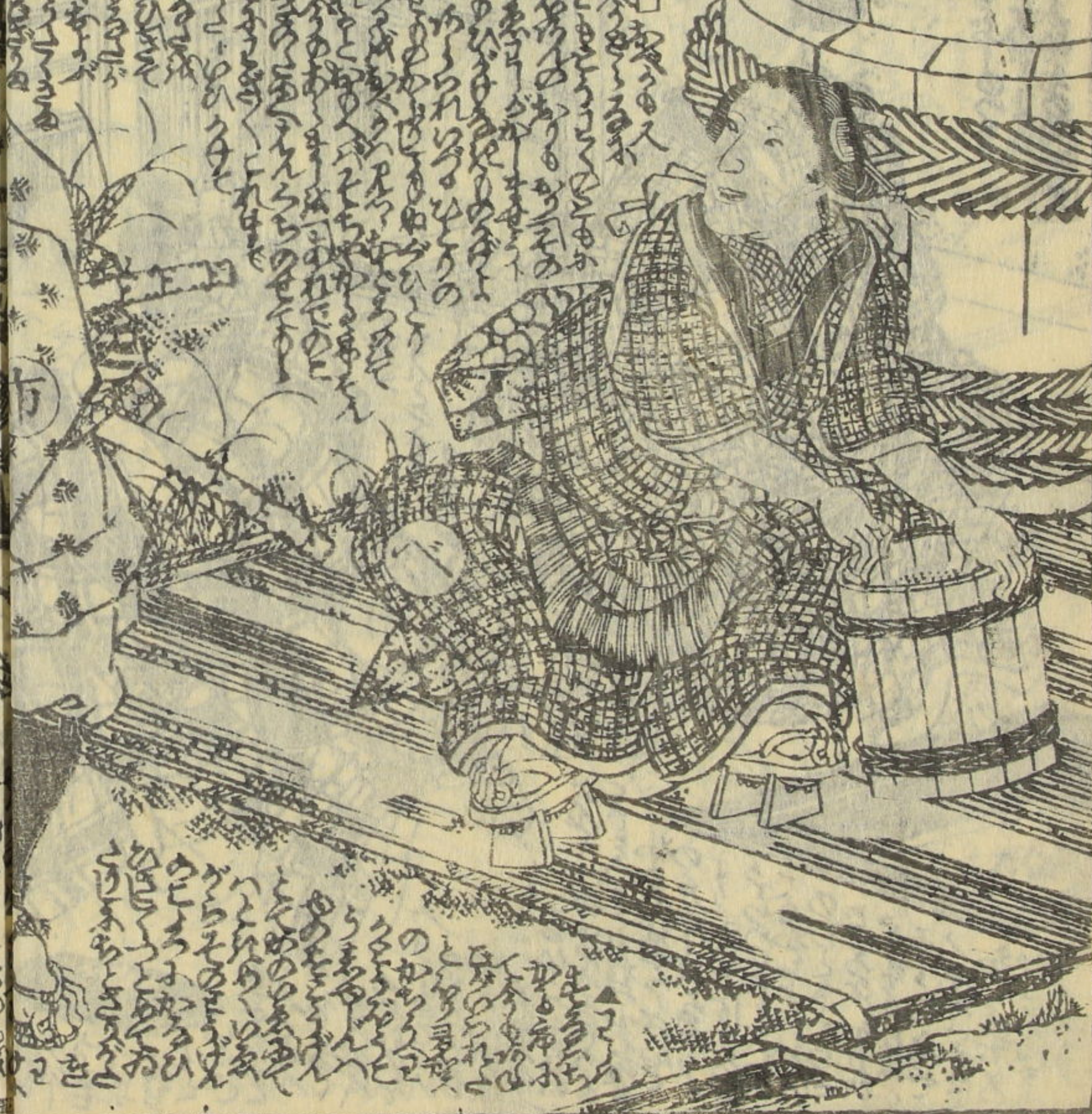
Vertical columns of handwritten Japanese text in kuzushiji style, located at the bottom of the right page.



下の文は、この物語の  
 結末部分にあり、  
 主人公の運命が  
 明らかになる。

上の文は、この物語の  
 序言部分にあり、  
 物語の背景と  
 登場人物を紹介する。

この物語は、  
 昔の日本に  
 あり、  
 多くの  
 読者に  
 愛された。



この物語は、  
 昔の日本に  
 あり、  
 多くの  
 読者に  
 愛された。



Handwritten text in vertical columns at the top of the left page, likely a preface or introductory text.

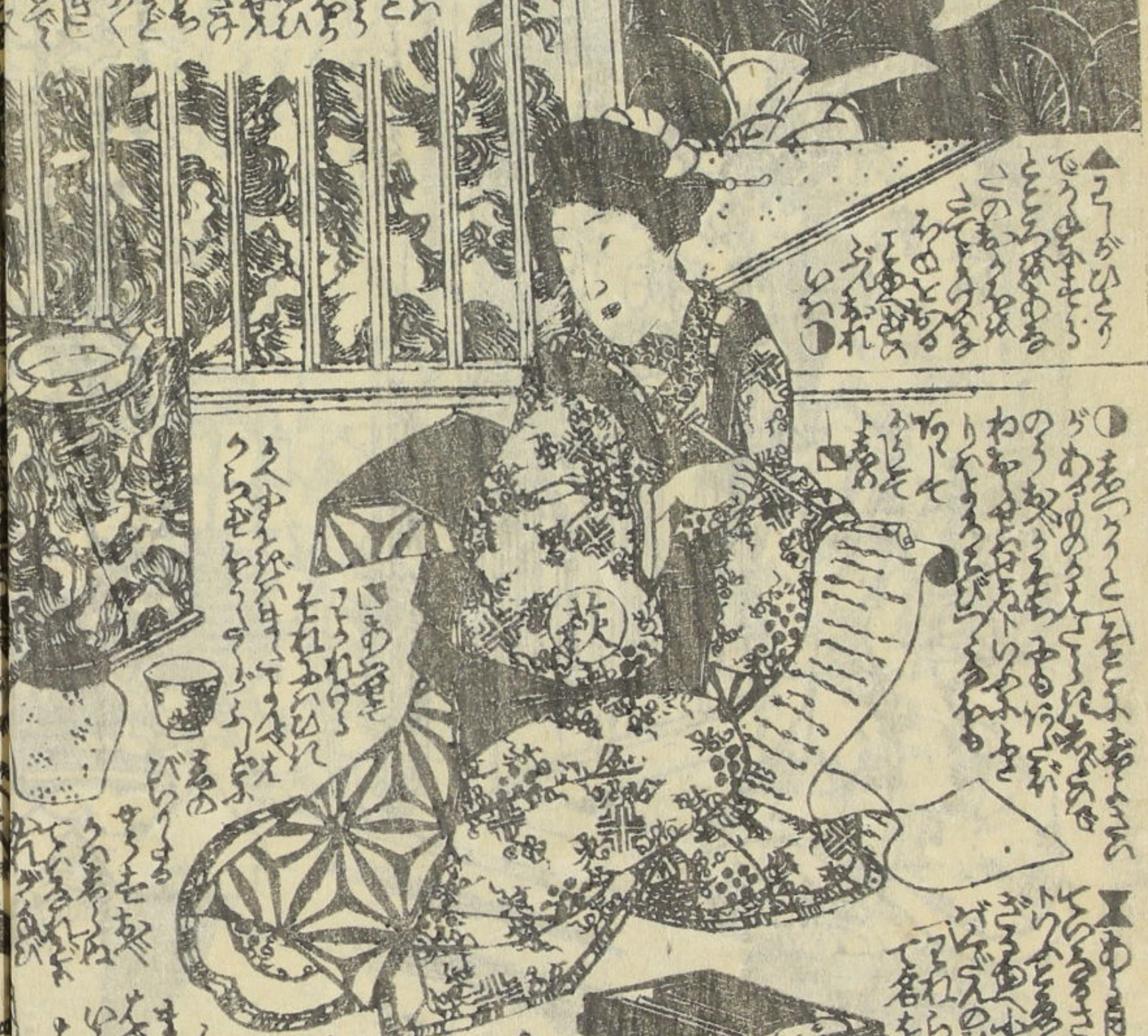


Handwritten text in vertical columns at the bottom of the left page, continuing the narrative or providing commentary.

寺代

二

Handwritten text in vertical columns at the top of the right page, continuing the narrative or providing commentary.



Handwritten text in vertical columns at the bottom of the right page, continuing the narrative or providing commentary.

甲

其

朝牛肉丸二百明

くわい... 朝牛肉丸二百明... 朝牛肉丸二百明... 朝牛肉丸二百明...



為永春水作一壽齋國貞画

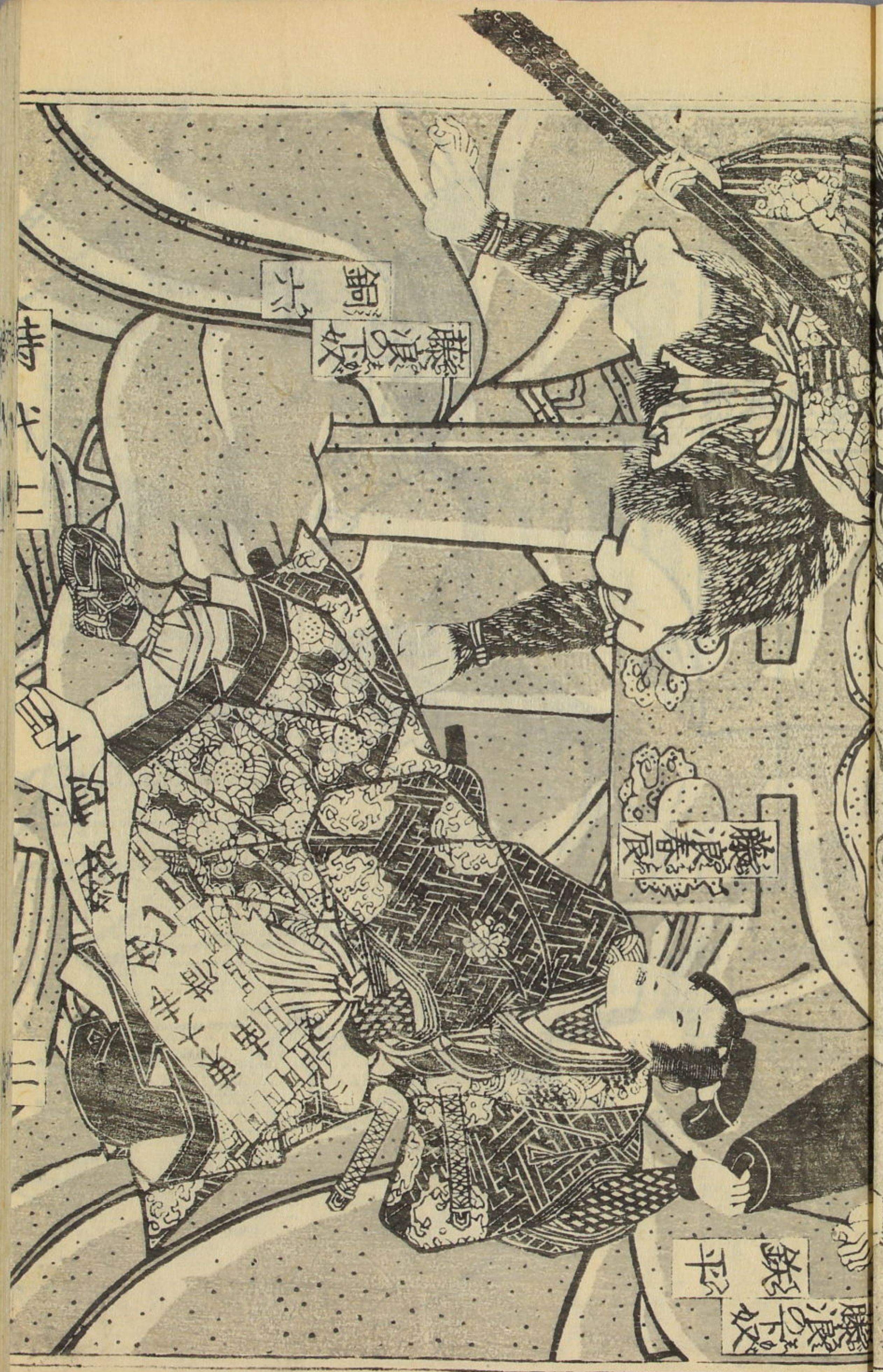
越後の國の七不思議... 再び言人も... 庭小今... 何日の宅も自由小取... 夜泊油燈の... 故小蜂沢等... 爰小録... 者或ハ手或ハ足... 鳥わ... 小あ...

安政五稔戊午初春新鑄

為永春水記



加州合法十字  
 羅王の石像  
 燦



藤浪の下奴  
 平

藤浪春辰

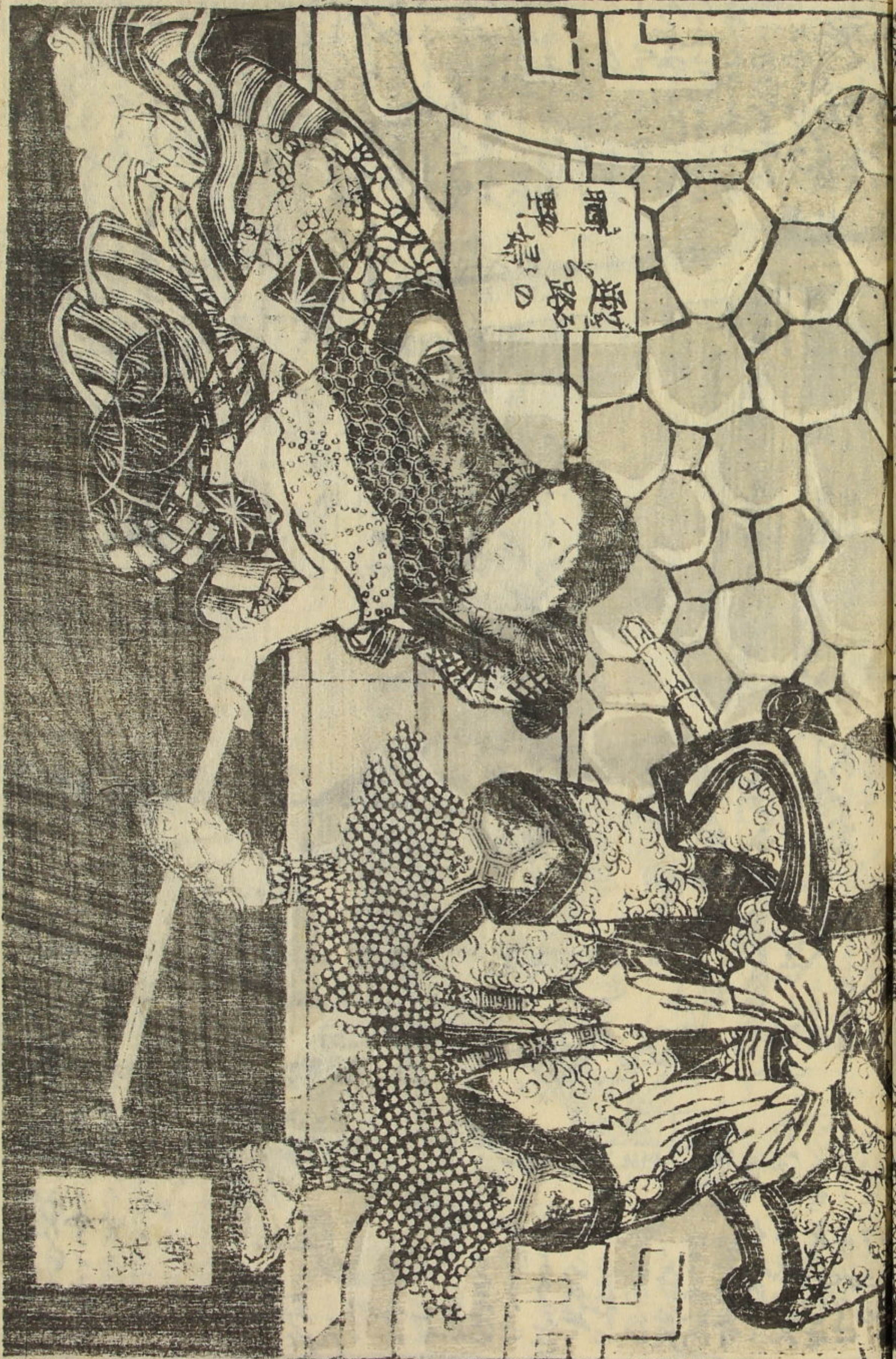
藤浪良奴

銅六



因果坊戒念

田代七郎



逆路の  
野崎の  
蔵

新編  
浮城物語

田代七郎

田代七郎















寺  
廿  
十一

そのはらへてあつたのち  
うらなひのたふしをいふ  
そのはらへてあつたのち  
うらなひのたふしをいふ  
そのはらへてあつたのち  
うらなひのたふしをいふ

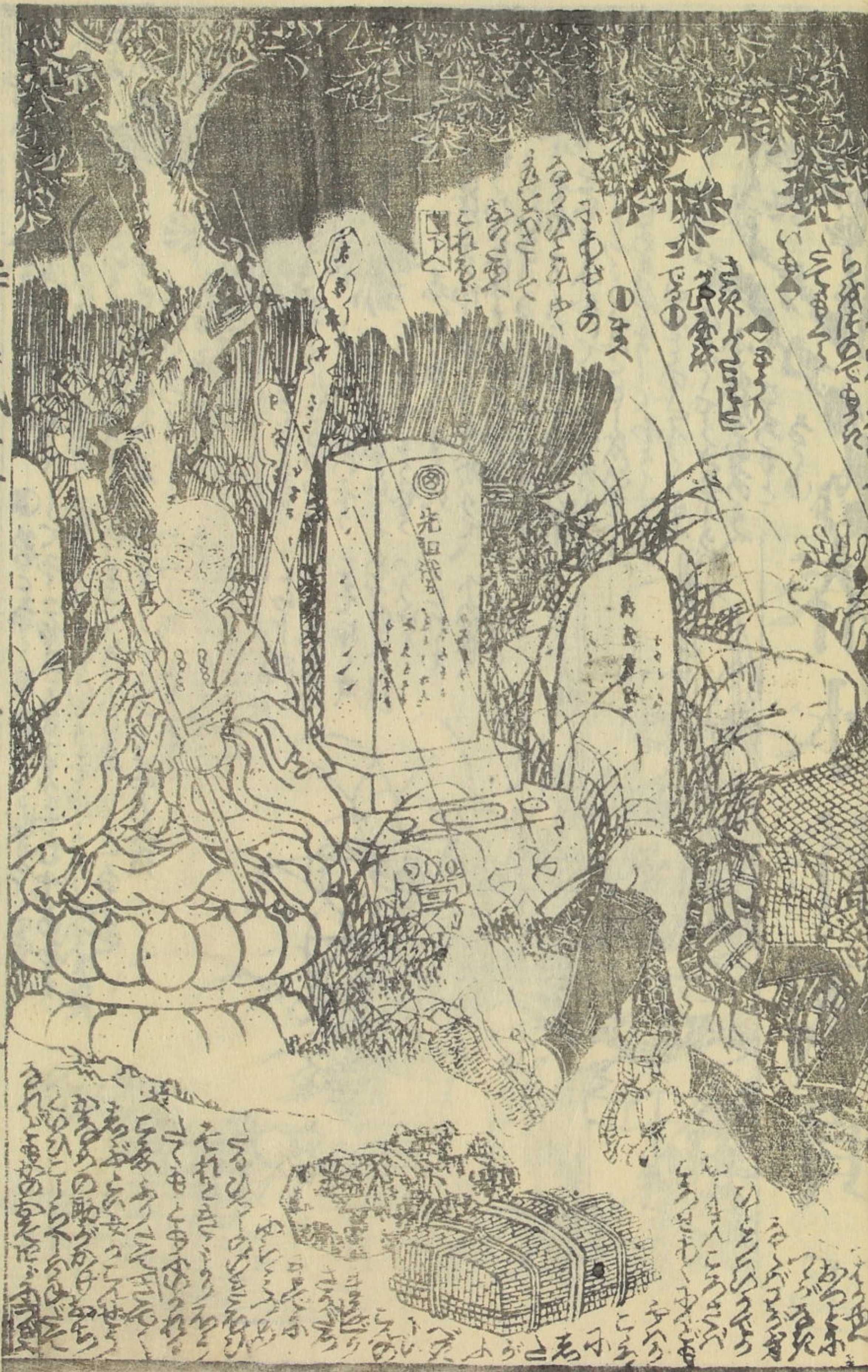
そのはらへてあつたのち  
うらなひのたふしをいふ  
そのはらへてあつたのち  
うらなひのたふしをいふ  
そのはらへてあつたのち  
うらなひのたふしをいふ

そのはらへてあつたのち  
うらなひのたふしをいふ  
そのはらへてあつたのち  
うらなひのたふしをいふ  
そのはらへてあつたのち  
うらなひのたふしをいふ

そのはらへてあつたのち  
うらなひのたふしをいふ  
そのはらへてあつたのち  
うらなひのたふしをいふ  
そのはらへてあつたのち  
うらなひのたふしをいふ

そのはらへてあつたのち  
うらなひのたふしをいふ  
そのはらへてあつたのち  
うらなひのたふしをいふ  
そのはらへてあつたのち  
うらなひのたふしをいふ

そのはらへてあつたのち  
うらなひのたふしをいふ  
そのはらへてあつたのち  
うらなひのたふしをいふ  
そのはらへてあつたのち  
うらなひのたふしをいふ



光田法師  
 此の墓は  
 光田法師の  
 墓なり  
 光田法師  
 此の墓は  
 光田法師の  
 墓なり  
 光田法師  
 此の墓は  
 光田法師の  
 墓なり



要  
 澤  
 此の墓は  
 光田法師の  
 墓なり  
 光田法師  
 此の墓は  
 光田法師の  
 墓なり  
 光田法師  
 此の墓は  
 光田法師の  
 墓なり



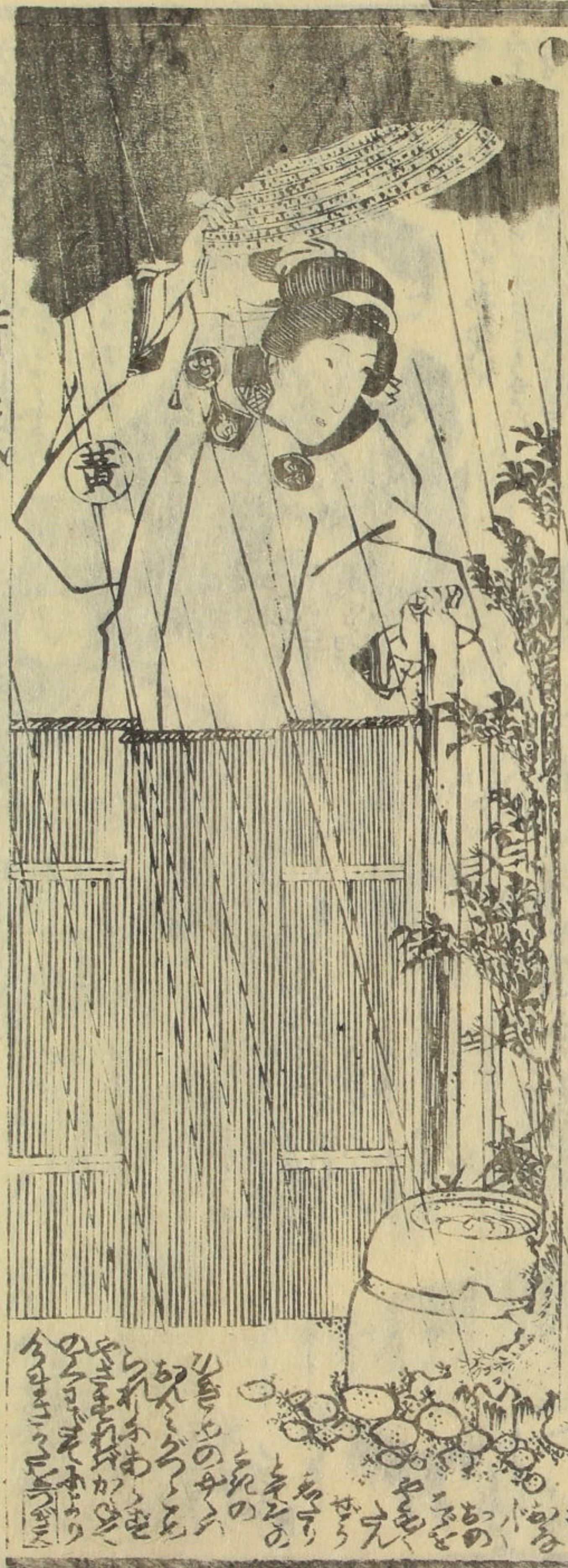








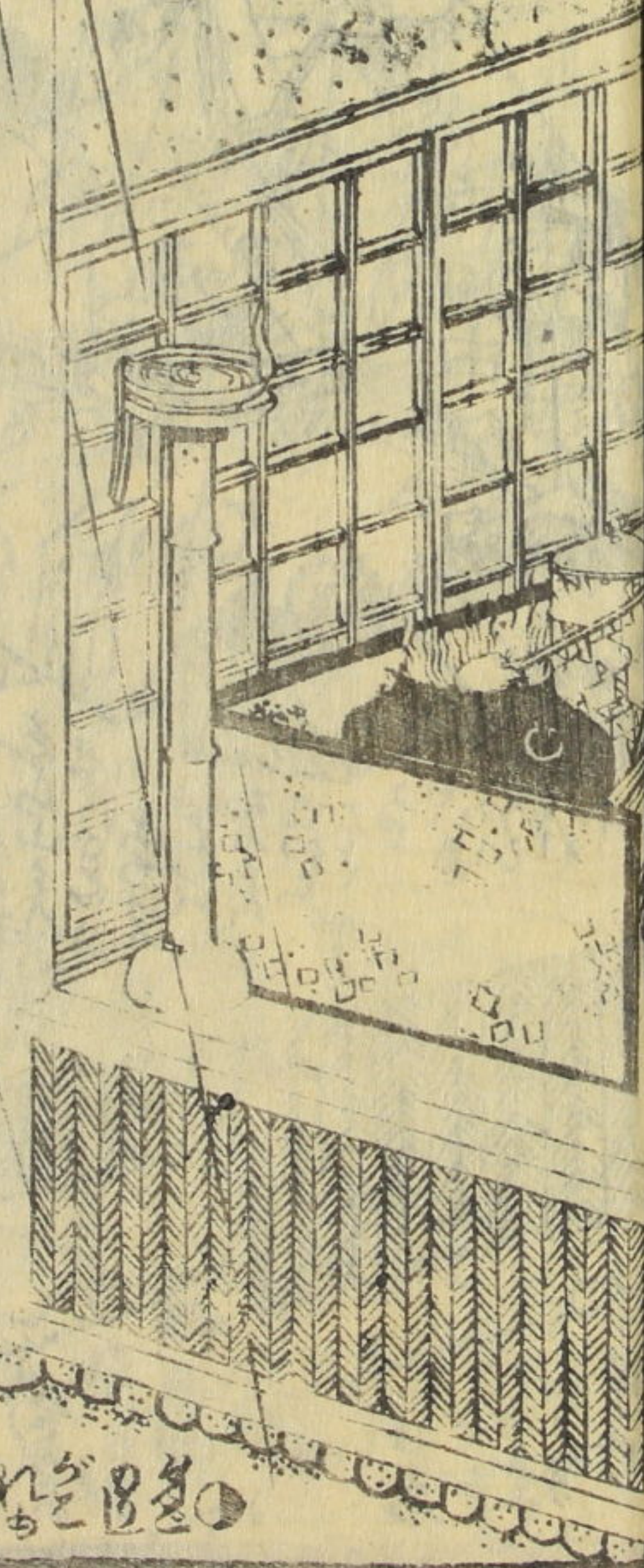




持代十一

此の由は...  
 黄の...  
 持代...  
 十一...

此の由は...  
 黄の...  
 持代...  
 十一...



此の由は...  
 刀の...  
 持代...  
 十一...

此の由は...  
 刀の...  
 持代...  
 十一...

持代十一













魚の  
 脚  
 五  
 魚  
 魚  
 魚

運四郎の  
 後家  
 阿十郎  
 女房



野呂松屋の  
 入夫花作  
 基ハ  
 如法寺  
 の住僧  
 蜂澤

甲  
 十  
 月



臺所  
杜氏  
金六

お



丹多阿

品七の新婦  
小波那

悪漢  
横鳴  
世知平

時

時代

二





つれづれと天を  
つれづれと地を  
つれづれと人を  
つれづれと物を  
つれづれと時を  
つれづれと空を  
つれづれと雲を  
つれづれと雨を  
つれづれと雪を  
つれづれと風を  
つれづれと雷を  
つれづれと電を  
つれづれと火を  
つれづれと水を  
つれづれと土を  
つれづれと木を  
つれづれと草を  
つれづれと花を  
つれづれと鳥を  
つれづれと魚を  
つれづれと虫を  
つれづれと人



つれづれと天を  
つれづれと地を  
つれづれと人を  
つれづれと物を  
つれづれと時を  
つれづれと空を  
つれづれと雲を  
つれづれと雨を  
つれづれと雪を  
つれづれと風を  
つれづれと雷を  
つれづれと電を  
つれづれと火を  
つれづれと水を  
つれづれと土を  
つれづれと木を  
つれづれと草を  
つれづれと花を  
つれづれと鳥を  
つれづれと魚を  
つれづれと虫を  
つれづれと人

五

五









一萬部

當十月

大工守  
執事

甲子年十一月

時代年記

Vertical columns of handwritten Japanese text surrounding the left illustration, including names and descriptive phrases.

Vertical columns of handwritten Japanese text surrounding the right illustration, including names and descriptive phrases.

















寺  
七  
十一

十一



冊  
作  
二  
二

十一

右  
左  
二  
条  
の  
庄

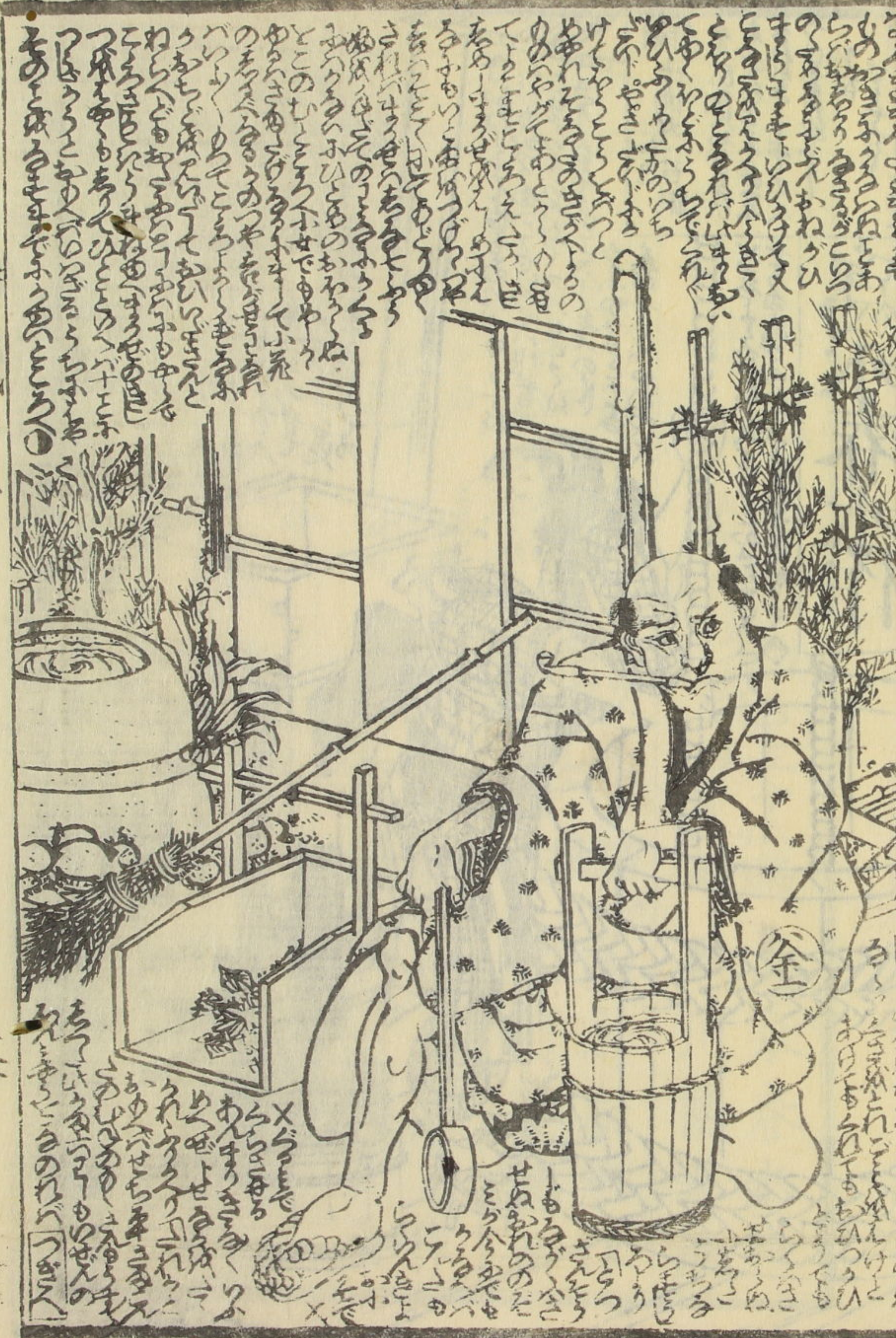
流  
軒  
と  
見  
ち  
ら  
し  
小  
門  
松  
の  
車  
の  
品











Vertical text columns on the top left page, likely a title or introductory text.

Vertical text columns on the bottom left page, surrounding the illustration.



Vertical text columns on the top right page, likely a title or introductory text.

Vertical text columns on the bottom right page, surrounding the illustration.

慶應四辰新年新刻目錄

地本草紙問屋若林堂  
明前若狭屋与市板

庭訓武藏鑑  
六編揃  
萬事應賀作  
歌川國貞画

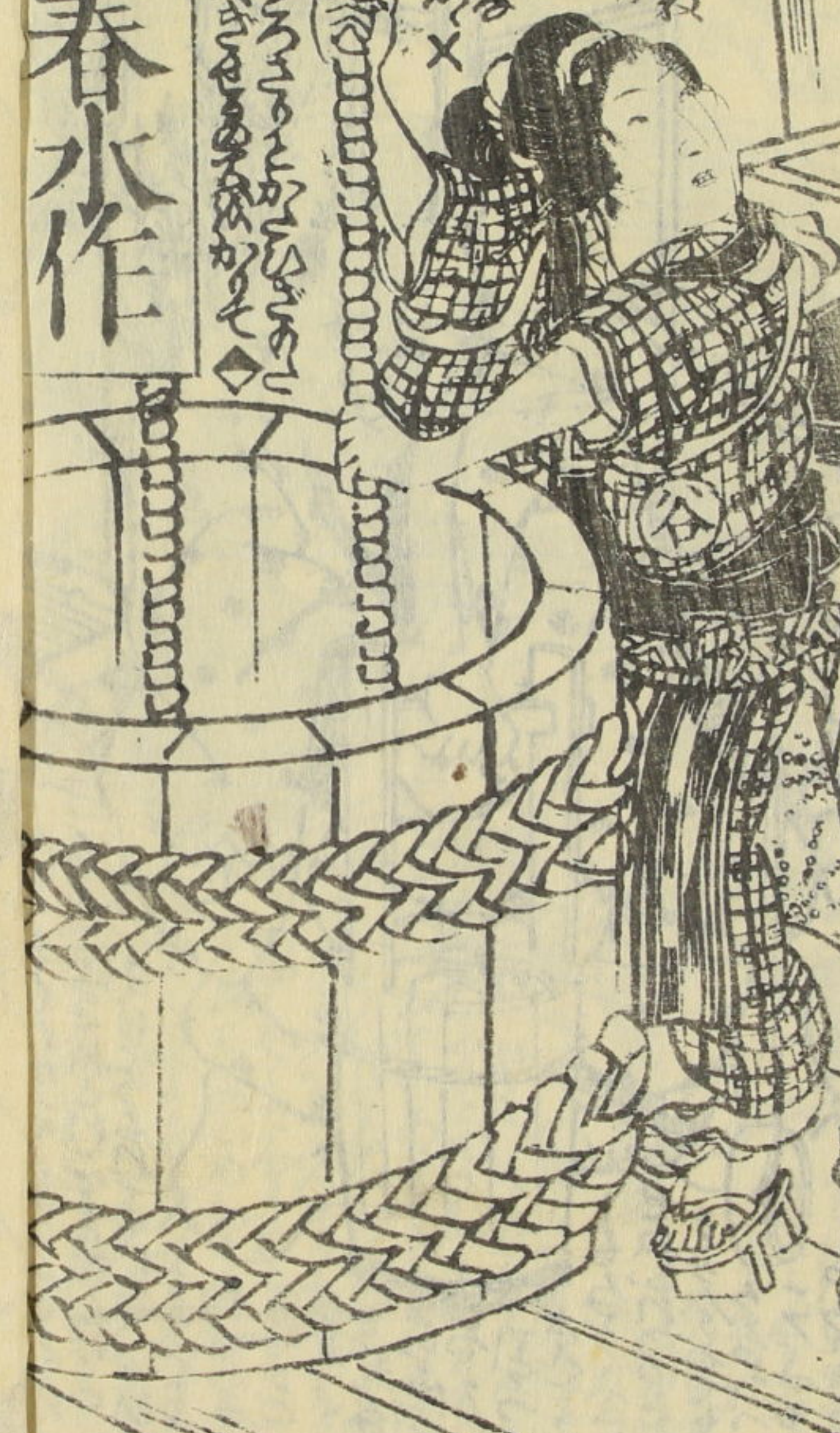
池園物語  
二編  
山亭有人作  
歌川國貞画

雜談兩夜質庫  
六編出板  
為永春水作  
歌川豊國画

北雪時代加賀見  
三十八編  
為永春水作  
歌川國貞画

為永春水作

朝牛肉丸 一包銅  
鮮牛肉丸 一包銅  
鮮牛肉丸 一包銅  
鮮牛肉丸 一包銅



合おもてはもあねとてう工敷  
おもてはもあねとてう工敷  
おもてはもあねとてう工敷

おもてはもあねとてう工敷  
おもてはもあねとてう工敷  
おもてはもあねとてう工敷

一壽齋國貞画



拾二編

喜水記  
國貞畫

喜水記